

スクリーンキャプチャーの比較

1. [Print Screen] キー

→ モニター画面全面を保存

2. 「 Windows 」 キー + 「 Shift 」 キー + 「 s 」 キー

→ 選択した範囲を保存

3. [Alt] キー + [Print Screen] キー

→ アクティブなウィンドウのみを保存

上記 3 法で保存したものはクリップボードに 1 ファイルしか保存されずそれ以降は前のファイルは消される。

ファイルを正式に保存するには、ペイント等でファイル名をつけて保存するか、Word、Excel 等のアプリケーションに保存する。

全てを連続保存するためには、「クリップボードの履歴を有効化」の設定(*をしておく。

履歴を有効化したクリップボードは

(*: Ver.1809 ~

- ★ パソコンの電源を切るまで有効化されたクリップボード上に累積保存される
- ★ 保存したファイルを見るには「 Windows 」キー + 「 v 」キー
- ★ パソコン電源を切ると消去されるので、消されないためには[ピン留め]をする
- ★ 正式に保存するためにはペイントやフォトショップなどでファイル名を付けて保存する
- ★ 通常の「コピー」操作で保存したのも全てここに保存されるという問題がある

4. [Windows] キー + [Print Screen] キー

→ デスクトップ画面全体を「ピクチャ」ライブラリの「スクリーンショット」フォルダーに自動的にファイル名を付けて累積保存される。

保存した画像ファイルは PNG 形式である。

5. 「 Snipping Tool 」

Vista から入っている切り取りアプリ。Ver.2103 から消されると噂されている。

6. 「切り取り & スケッチ」

Snipping Tool の後継アプリである(Ver.1809 ~)。

おまけ. 「ステップ記録ツール」

パソコンに問題が発生したときにその時行った操作を次から次へと(Enter を押す度に)自動的に画像記録することが出来る。トラブルが起きた時などにこの記録をサポート担当者に送信すると問題の解決に役立てることができる。

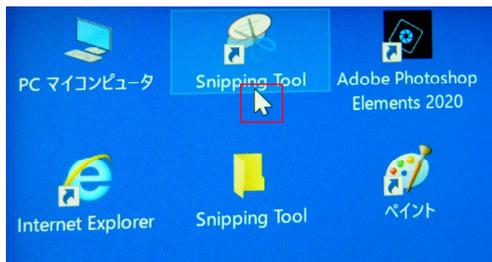
前記 6 法を比較した結果、4.の 「Windows」 + 「Print Screen」 が最良という結論を得ました

【参考】

- ★スクリーンキャプチャ＝スクリーンショット＝スクリーンダンプ＝スクショ＝SS
- ★スクリーンキャプチャは、私は、ソフトウェアのマニュアル(取扱説明書)を作成するとき等に、モニター画面を取り込み、切り出した画像をペイントやフォトショップ等で文字や赤枠を書き入れたりして加工する時利用しています。

【その他】

- 上記 6 法は何れも画面中のポインター(矢印)を取り込むことが出来ない。ポインター付の画像をキャプチャーするには「Windows 簡単操作ツール」の「拡大鏡」を使用した方法を使用する。



ポインターが
消えてしまう



- Windows95 ~ 7 時代には WinShot という優れた無料アプリがあったが、その後のメンテがされていないので Windows10 では上手く動作しない。
cf. 窓の杜でダウンロード可能
WinShot 後継アプリとして SnapCrab がある。
WinShot も SnapCrab もポインターマークを簡単に取り込むことが出来る。

操 作

【解説】

キーボードの **Print Screen** キーを押して保存する方法は一画面しか保存出来ない。
続けて保存しようとするとも前のものは消えてしまうので、ペイント等でファイル名をつけて保存するか、一太郎、Word、Excel 等のアプリケーションに保存する必要がある。

連続して保存出来る様にするためには**クリップボードの履歴を有効化**(*しておく。そうすると

- 次から次と多数保存出来る(但しパソコンの電源を切るまで保存)。
- 長期間保存するには「ピン留め」操作をする。

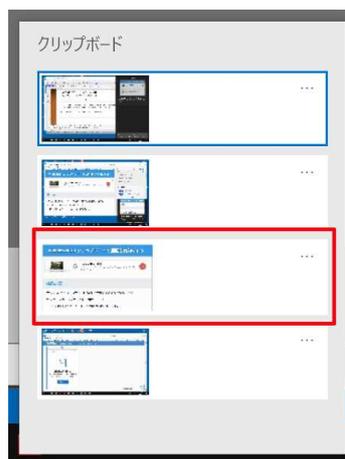
クリップボードの履歴で保存した画像は **png** 形式で仮保存されている。正式に保存したい時は「ペイント」等で名前をつけて保存する。

(* : Ver.1809 から導入

1. 「Windows」+「V」を同時に押してクリップボード画面に「履歴を表示できません」と表示されたら「有効にする」をクリックしてクリップボードの履歴を有効化する。



2. クリップボードの履歴が有効になっていると「Windows キー」+「V」を同時に押すとクリップボードに履歴一覧が表示される。
貼り付けたい [項目] をクリックする。一瞬青枠で囲まれて直ぐ消えて何の変化も残らないがコピーされている。

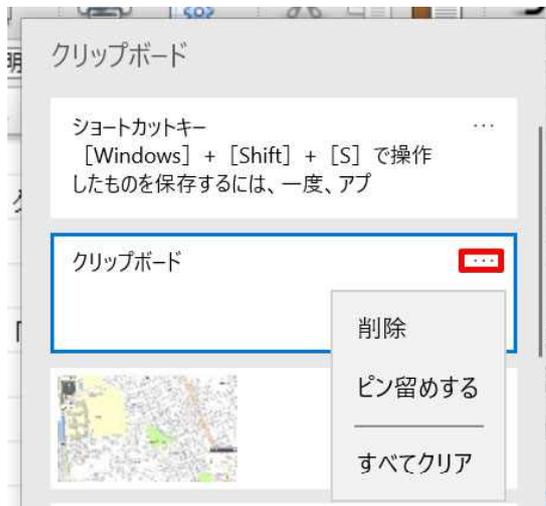


Windows 10 操作要領

クリップボード履歴の有効化操作方法 2/3

操 作

- クリップボードの履歴の項目の右上の 3 個の点(⋮)を右クリックすると、プルダウンメニューに、「削除」、「ピン留めする」、「すべてクリア」と表示される。



削除:このボードだけ削除する

ピン留めする:クリップボード上に長期保存する

すべてクリア:このクリップボードのピン留めしたもの以外は全て削除する

このままだと電源を切るまで保存される。電源を切ると消えてしまうので、残して置きたいものは「ピン留め」をクリックする。「ピン留め」すると電源を切っても保存される。

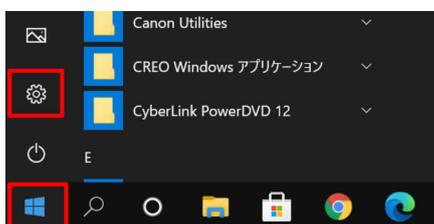
- クリップボード上の保存は仮保存であるので、正式に保存するためにはコピーして「ペイント」等で名前をつけて保存する必要がある。

【参考】

○ クリップボードの履歴の有効化操作(別法)

クリップボードの履歴はデフォルトでは無効化となっている。これを有効にするには上記 1. の「 Windows 」+「 V 」を同時に押してクリップボード画面から有効にする方法の他に「 Windows 設定」画面から有効化することが出来る。此の方法はクリップボードの履歴の有効を無効にすることも出来る。

- 「 Windows スタート」ボタンをクリックし、次いで「設定」(歯車マーク)をクリックする。



Windows 10 操作要領

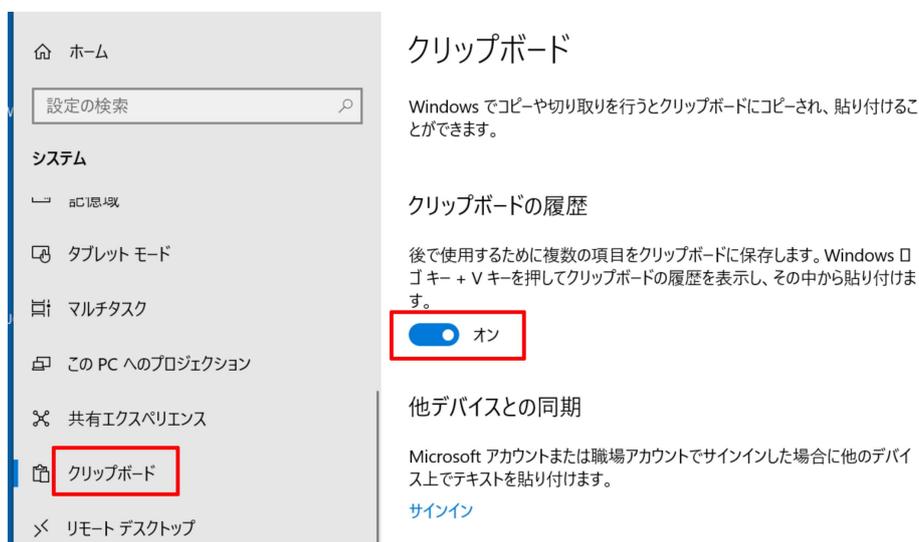
クリップボード履歴の有効化操作方法 3/3

操 作

2. 開いた「Windows 設定」画面の「システム」をクリックする。



3. 開いた画面の左側にある「クリップボード」をクリックして画面右側の「クリップボードの履歴」を「オン」にする。



「クリップボードの履歴」を無効化したい時は、この「クリップボードの履歴」を「オフ」にする。

「オフ」にするとクリップボードに保存されていた物は全部(ピン留めした物も)消去されるので注意。

【注意】

- クリップボードにはスクリーンキャプチャーしたものだけでなく Word や Excel のコピー操作でコピーしたものも全て入っている。